

1 本園の教育目標

「かがやくひとみ」
 ・いきいきと遊ぶ子供。
 ・自分も友達も大切にすること。
 ・豊かな感性をもち、表現すること。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

「つなげよう 笑顔と笑顔のまあるいわ」
 ～一人ひとりが安心して過ごせるクラスをめざして～
 ＊努力目標達成のための手立てを考えて実践する。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
①努力目標達成に向けて	A	一人ひとりの持ち味や発達の様子、個に応じた手立てを職員間で共有することで、安心して園生活を過ごせるクラスづくりに取り組むことができた。
②友達同士の繋がり意識した教育・保育活動	B	クラス毎に、話し合い活動や繋がりを意識した集団あそびに取り組む、子供同士が園生活を楽しく、人との繋がりがもてるようなクラス運営を行うことができた。
③防犯・防災意識を高める	B	様々なケースや時間帯を具体的に考え、避難訓練を行い、災害に対応できるよう職員間で共有できた。次年度は、避難訓練の内容を精査していきたい。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	努力目標について週案立案時に都度振り返るようにし、子供の姿の理解や手立ての仕方、保育のねらいを明確にするよう努めた。担任同士では連携を密にして教育・保育活動を進めることができたが、他の職員とは長期的な見通しをもとに取り組むことが難しかった。次年度は職員間で、見通しをもって定期的に話し合う時間を設けていく。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
異年齢での交流	異年齢交流の長期・短期それぞれの目標や計画を立て、意図的な関わりや、自然な関わりについて工夫する。また、小学校との具体的な交流や連携も図っていく。
職員の資質向上	互いの教育・保育が豊かになるよう、教材研究や指導方法の交流など、研修内容や研修方法を見直し、資質向上に努める。
危機管理	安全対策員や環境整備員とも連携を図りながら、環境整備や防犯・防災対策に努めるとともに、関係各所と連携を取った対応や訓練が実施できるように計画する。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である